

## <ロタウイルス・B型肝炎・H i b・肺炎球菌>

①	<p><b>B型肝炎</b>／父親がキャリアのため早期に B 型肝炎ワクチン接種を開始している児について、3 回目の接種時期はどうしたらよいですか？</p>
	<p>→母子感染ではないので、通常の定期接種のスケジュールと同じでよいと考えます。(1 回目から 139 日以上の間隔をあけて接種する)。ハイリスクのため、念のために抗原抗体検査をしておかれることをお勧めします。</p>
②	<p><b>B型肝炎</b>／抗体のない成人の場合の、接種スケジュールを教えてください。</p>
	<p>→1 回目から 27 日以上の間隔で 2 回目を接種した後、第 1 回目の接種から 20～24 週間後に 1 回の計 3 回を接種します。 成人の場合は抗体がつきにくいことがあるので、3 回目接種の 2 ヶ月か月後に抗体検査をしておかれることをお勧めします。</p>
③	<p><b>B型肝炎</b>／2 回接種のみで 1 歳を過ぎました。3 回目の接種はどうしたらよいですか？</p>
	<p>→3 回接種を受けることが基本です。任意接種になりますが、早急に 3 回目の接種を受けられることをお勧めします。</p>
④	<p><b>B型肝炎</b>／抗体検査は、接種後どのくらいの期間をあけて受けるとういですか？万一、抗体価が上がっていなかった場合、再接種はどうしたらよいですか？</p>
	<p>→抗体検査は、3 回目接種の 1～2 ヶ月後を目途に抗体検査を行うことが推奨されています。再接種については、抗体価の数値により追加接種とするか、もう 1 シリーズ (3 回接種) を行うかは医師の判断になりますので、接種医とご相談ください。</p>
⑤	<p><b>肺炎球菌</b>／これまでに 2 回接種を受け 5 年が経過しましたが、高齢となり接種に不安があります。再接種は受けた方がよいでしょうか？</p>
	<p>→規定はありませんが、再接種により得られる利益と、注射部位反応等のリスクを考慮する必要があります。日本感染症学会「肺炎球菌ワクチン再接種のガイドランス」の中では『再接種による臨床的な有効性のエビデンスは明確になっていないが、症例によっては追加接種を繰り返すことを考慮してもよい』と記載されています。 また 3 回目以降の接種でも、それ以前の接種と同程度の抗体価上昇が確認されています。安全性では、初回接種群と 2～4 回接種群では局所の副反応が多く認められましたが、2 回接種群と 3 回以上接種群の間では優位な差はなく、重大な副反応はみられなかったと記載されています。</p>
⑥	<p><b>肺炎球菌</b>／0 歳児で誤って 4 回目の接種を受けたお子さんについて、身体への影響やワクチンの有効性について教えてください。</p>
	<p>→0 歳児で過剰接種を受けた人のデータの把握はありませんが、追加接種 (4 回目) は標準的には 3 回目から 60 日間以上の間隔をあけて接種するものであるため、抗体価が十分に上がらない可能性が考えられます。体調や局所の反応等</p>

## <ロタウイルス・B型肝炎・H i b・肺炎球菌>

	を十分に観察していただき、改めて接種（5回目）が必要かについては、接種医と十分に相談してください。
⑦	<b>肺炎球菌</b> ／高齢者の肺炎球菌ワクチンについて、心臓病や肺炎の既往歴があっても受けられますか？
	→まずは主治医にご相談ください。